

教科	社会(地理的分野)	学年	第1学年
----	-----------	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
第一部世界と日本の地域構成第一章世界の姿	5	○地図帳や地球儀を活用して、私たちの住む地球を眺めて、大陸と太陽の分布、いろいろな国の国名と位置、緯度と経度、地球儀と世界地図の違いから、世界の大まかな構成を捉えさせる。	○世界の六つの州と主な国の位置と名称や、緯度と経度の仕組みを理解したり、地図帳の統計資料や索引を活用している。	○国名や国旗、国境線の特徴から、その国の歴史や文化が分かることや、様々な種類の世界地図の特徴を考察できる。	○地図や地球儀に親しみ、世界の地域構成や位置の表現方法について主体的に追究しようとしている。
第一部世界と日本の地域構成第二章日本の姿		○地図帳や地球儀を活用して、世界の中での日本の位置、日本の領域とその特徴、都道府県と県庁所在地から、日本の範囲や地域構成をとらえさせる。	○世界の中での日本の位置や、日本の領域と領土をめぐる問題、日本の都道府県について理解し、世界の中での日本の位置を示したり、日本と各地との時差を計算し時刻を求めたりすることができるようにする。	○世界の中での日本の位置や広がりや日本と世界各国の時差、日本の領土・領域について、多面的・多角的に考察できる。	○世界の中での日本の位置や広がりについて関心を持ち、地球儀や地図を活用して、それらの事象を主体的に追究、解決しようとしている。
第二部世界のさまざまな地域第一章人々の生活と環境		○世界の様々な生活と環境、暑い地域の暮らし、乾燥した地域の暮らし、温暖な地域の暮らし、寒い地域の暮らし、高地の暮らし、世界各地の衣食住とその変化、人々の生活と宗教の関わりから、世界各地の人々の多様な生活と環境を捉えさせる。	○世界各地の人々の多様な生活と環境について、気候や地形などの自然条件と衣食住や宗教などの社会的条件を関連づけて理解している。	○世界各地の人々の多様な生活と環境について、自然条件や社会的条件と関連づけ、写真や地図、主題図などを活用して多面的・多角的に考察できる。	○世界各地の人々の多様な生活と環境に対して関心を持ち、主体的に追究しようとしている。
第二部世界のさまざまな地域第二章世界の諸地域第一節アジア州		○アジア州における急速な経済成長は、地域にどのような影響を与えているのか、捉えさせる。	○多様な自然環境や文化、産業がみられるアジア州について、地域ごとにその特色を理解し、地域間の違いからアジア州全体の地域的特色を理解している。	○アジア州の国々が、急速な経済発展をしている理由を、人口増加や他地域との結びつきなどに着目し、多面的・多角的に考察し、表現している。	○急激な人口増加と経済発展が、アジア州に暮らす人々の与える影響や、それによって生じる課題を、主体的に追究しようとしている。
第二部世界のさまざまな地域第二章世界の諸地域第二節ヨーロッパ州		○国同士の結び付きが強まることによって、地域にどのような影響が生じているのか、捉えさせる。	○ヨーロッパ州の地域的特色を自然環境、文化、産業の特色に着目して大観し、自然環境や文化にみられるヨーロッパの共通性と多様性について理解している。	○国どうしや他地域との結びつきに着目して、EU統合の背景と課題、人々の生活に与える影響などについて、ヨーロッパ州の地域的特色と関連付けて、多面的・多角的に考察し、表現している。	○日本との比較を交えながら、ヨーロッパ州の人々の生活に関心を持ち、地域的特色及びEU統合や文化の多様性に関わる課題を主体的に追究しようとしている。
第二部世界のさまざまな地域第二章世界の諸地域第三節アフリカ州		○特定の産物に頼る経済が、地域にどのような影響を与えているのか、捉えさせる。	○アフリカ州の人々の生活や産業の特色を理解し、アフリカ諸国とヨーロッパ諸国との文化や経済的な関係を、資料を用いながら歴史的背景を踏まえて理解している。	○輸出品が特定の農産物や鉱産資源に偏るようになった原因を追及し、その問題点を多面的・多角的に考察している。	○ヨーロッパ諸国との関係やモノカルチャー経済に着目しながら、アフリカ州の地域的特色への関心を高め、課題の解決を主体的に追究しようとしている。
第二部世界のさまざまな地域第二章世界の諸地域第四節北アメリカ州		○アメリカ合衆国を中心に巨大な産業が発達した結果、地域にどのような影響が生じているのか、捉えさせる。	○世界をリードし続けているアメリカ合衆国において、民族の多様性や、広大な国土を利用した農業、変化し続ける工業について理解している。■北アメリカ州の地域的特色や課題を、そこに暮らす人々の生活の様子を基に、多面的・多角的に考察している。	○世界をリードし続けているアメリカ合衆国において、民族の多様性や、広大な国土を利用した農業、変化し続ける工業について理解している。■北アメリカ州の地域的特色や課題を、そこに暮らす人々の生活の様子を基に、多面的・多角的に考察している。	○世界に大きな影響を与える北アメリカ州の産業や文化に着目しながら、それに関わる課題を主体的に追究しようとしている。
第二部世界のさまざまな地域第二章世界の諸地域第五節南アメリカ州		○農地や鉱山の開発が進むことによって、地域にどのような影響が生じているのか、捉えさせる。	○農地や鉱山の開発が進むことによって、地域にどのような影響が生じているのか、捉えさせる。■様々な文化を受け入れながら独自の文化を形成してきた南アメリカ州の経済成長について理解するとともに、発展の一方で経済格差や環境破壊などの問題が生じていることを本文や資料から調べ、まとめている。	○ブラジルで経済成長が続いている要因と熱帯林の減少の背景を関連付けて考察し、その解決策を多面的・多角的に考察している。	○近年の経済成長に着目しながら、南アメリカ州の地域的特色と農地や鉱山の開発による環境問題について主体的に追究しようとしている。
第二部世界のさまざまな地域第二章世界の諸地域第六節オセアニア州		○他地域との関係が変化してきたことによって、地域にどのような影響が生じているのか、捉えさせる。	○オセアニア州の自然環境の特色と植民地支配されていた歴史を理解し、自然環境と結びつく産業や、多文化社会による移民と先住民との共生などの地域的特色を理解している。	○オセアニア州の国々が、ヨーロッパの国と密接な関係を保ちながら、近年アジアとのつながりを深め、多文化社会を進めている理由や課題を多面的・多角的に考察している。	○オーストラリアやニュージーランドの多文化社会に着目しながら、オセアニア州の地域的特色や地域の新たな課題を主体的に追究しようとしている。

第三部日本のさまざまな地域第一章身近な地域の調査		○調査テーマを決めよう、調査方法を考えよう、野外調査を実行しよう、調査を深めて結果を発表しようの手順と手法を基に、身近な地域の調査を捉えさせる。調査テーマを決めよう、調査方法を考えよう、野外調査を実行しよう、調査を深めて結果を発表しようの手順と手法を基に、身近な地域の調査を捉えさせる。	○地図や景観写真、統計資料などを的確に読み取る技能や、地域調査を行う際の視点、方法を理解している。	○対象地域の地域的特色や課題をとらえるために適切な地理的事象を取り上げ、それらを多面的・多角的に考察している。	○対象地域の特色や課題を主体的に追究しようとしている。
--------------------------	--	---	---	---	-----------------------------

教科	社会(歴史的分野)	学年	第1学年		
第1章 歴史のとらえ方・調べ方		○時代や年代の読み取り方を理解させ、歴史を学習する際の基礎を身につけさせる。	○歴史上の人物、出来事などについて考える活動を通して、日本の歴史の大きな流れや時代の特徴を考察し、その過程や結果を適切に表現している。	○歴史上の人物、出来事などについて考える活動を通して、日本の歴史の大きな流れや時代の特徴を考察し、その過程や結果を適切に表現している。	○私たちと歴史について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
第2章 原始・古代の日本と世界 ・人類の出現と文明のおこり ・日本の成り立ちと倭の王権 ・大帝国の出現と律令国家の完成 ・貴族社会の発展		○人類が出現し、やがて世界各地で古代文明がおこったことや、宗教がおこったことを理解する。・それぞれの古代文明には、農耕や牧畜を基盤にして築かれたこと、文字の使用、国家がおこったことなど、共通する特色があることを理解する。 ○日本列島での農耕の広まりによる人々の生活の変化に気づき、国家が形成されていく過程のあらましを東アジアとのかかわりを通して理解する。 ○日本では、大陸の文物や制度を積極的に取り入れながら、国家のしくみが整えられたことを理解する。 ・天皇や貴族の政治が展開され、古代国家が発展していったことを理解する。	○世界の古代文明や宗教のおこりを基に、世界の各地で文明が築かれたことを理解している。 ○日本列島における農耕の広まりと、生活の変化や人々の信仰、大和政権による統一の様子と東アジアとの関りなどを基に、東アジアの文明の影響を受けながら我が国で国家が形成されていったことを理解している。 ・律令国家の確立に至るまでの過程、摂関政治などを基に、東アジアの文物や制度を積極的に取り入れながら国家の仕組みが整えられ、その後、天皇や貴族による政治が展開したことを理解している。	○古代文明や宗教が起こった場所や環境、農耕の広まりや生産技術の発展、東アジアとの接触や交流と政治や文化の変化などに着目し、事象を相互に関連付けするなどして、古代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 ○古代までの日本を大観して、時代の特徴を多面的・多角的に考察し、表現している。	○古代までの日本について、よりよい社会の実現を視野にそこに見られる課題を主体的に追究しようとしている。
第3章 中世の日本と世界 ・武家政治の始まり ・ユーラシアの動きと武家政治の変化 ・結びつく民衆と下剋上の社会		○武士が台頭して鎌倉幕府が成立し、その支配が次第に全国に広まったことを理解する。 ○13世紀ごろの世界では、ユーラシア大陸に広がるモンゴル帝国が成立し、東西の貿易や文化交流が盛んになったことを理解する。 ○南北朝の争乱や室町幕府の成立について、東アジア世界との密接な関りとともに理解する。 ○応仁の乱後の社会的な変動や戦国の動乱などから、武家政治の展開について理解する。 ○農業などの諸産業が発達し、畿内を中心とした都市や農村に自治的なしくみが成立したことを理解するとともに、室町文化には禅宗の影響や現在との結びつきがみられることに気づく。	○鎌倉幕府の成立、元寇などを基に、武士が台頭して主従の結びつきや武力を背景とした武家政権が成立し、その支配が広まったこと、元寇がユーラシアの変化の中で起こったことを理解している。 ○南北朝の争乱と室町幕府、日明貿易、琉球の国際的な役割などを基に、武家政治の展開とともに、東アジア世界との密接な関りが見られたことを理解している。 ○農業など諸産業の発達、畿内を中心とした都市や農村における自治的な仕組みの成立、武士や民衆などの多様な文化の形成、応仁の乱後の社会的な変動などを基に、民衆の成長を背景とした社会や文化が生まれたことを理解している。	○武士の政治への進出と展開、東アジアにおける交流、農業や商工業の発達などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、中世の社会の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 ○中世までの日本を大観して、時代の特徴を多面的・多角的に考察し、表現している。	○中世の日本について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。 ○校外学習と関連付けて仏教についての知識を深めようとしている。
第4章 近世の日本と世界 ・結びつく世界との出会い ・天下統一への歩み		○14～16世紀のヨーロッパでは、ルネサンスや宗教改革、アジアへの新航路の開拓などの動きがおこり、ヨーロッパ諸国が貿易や布教などを目的に世界各地へ進出していったことを理解する。 ○ヨーロッパ人が日本に来航した背景や目的を理解し、それが日本の社会に及ぼした影響について考える。 ○織田信長・豊臣秀吉による全国の統一事業や、朝鮮への出兵などの対外関係についてとらえ、近世社会の基礎がつけられていったことを理解する。 ○海外から南蛮文化などが取り入れられる一方で、武将や豪商の気風や経済力を背景とした豪壮・華麗な文化が生み出されたことを理解する。	○ヨーロッパ人來航の背景とその影響、織田・豊臣による統一事業とその当時の対外関係、武将や豪商などの生活文化の展開などを基に、近世社会の基礎がつけられたことを理解している。	○交易の広がりとその影響、統一政権の諸政策の目的、産業の発達と文化の担い手の変化、社会の変化と幕府の政策の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、アの(ア)から(エ)までについて近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 ○近世の日本を大観して、時代の特徴を多面的・多角的に考察し、表現している。	○近世の日本について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。